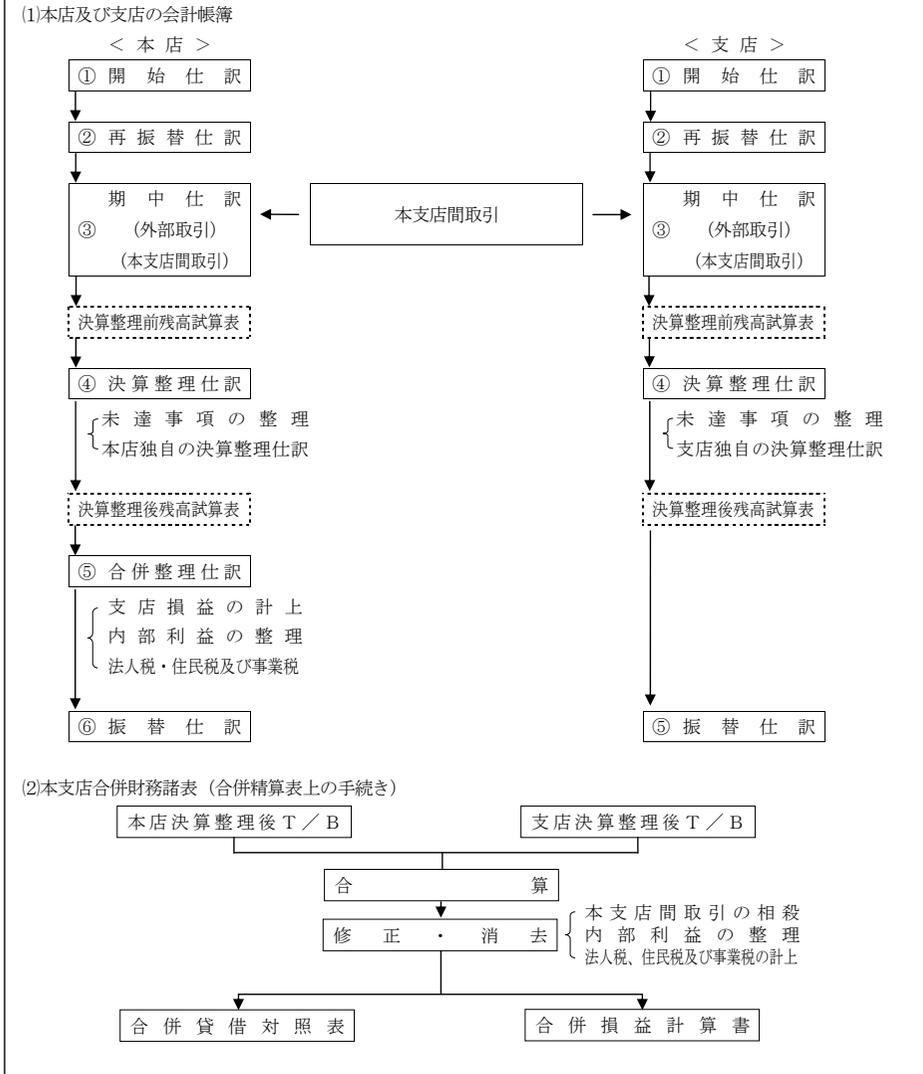


第137回 日商簿記検定試験 1級 - 商業簿記 - 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

1. 本支店会計の流れのポイント

本支店会計は、本店及び支店の会計帳簿上の会計行為と合併貸借対照表、合併損益計算書を作成する合併精算表上の会計行為を明確に区別する必要がある。



2. 在外支店の換算のポイント

(1)基本的な考え方

在外支店の財務諸表項目は、本店が作成する個別財務諸表の構成要素になるので、外貨建項目の換算基準と整合させる必要がある。これを本国主義と呼ぶ。したがって、在外支店における財務諸表項目の換算方法は、基本的には本店における外貨建取引の換算方法と同じである。

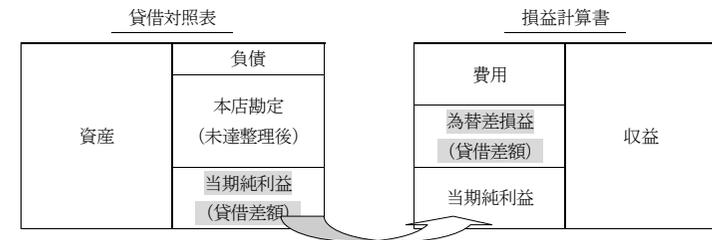
(2)在外支店の財務諸表項目の換算

項目		換算レート	備考
外国通貨		CR	
外貨建金銭債権債務（外貨預金、未収収益、未払費用含む）		CR	
貸倒引当金		CR	
外貨建有価証券	売買目的有価証券	CR	本店が保有する有価証券と同様
	満期保有目的の債券	CR	
	その他有価証券	CR	
	子会社・関連会社株式	HR	
費用性資産	棚卸資産	時価で評価されているもの 原価で評価されているもの	CR HR
	固定資産・繰延資産	HR	
本店勘定		※1	
前受金・前受収益等の収益性負債の収益化		HR	
取得原価で記録されている費用性資産の費用化（減価償却費、棚卸資産、前払金、前払費用等）		HR	
その他の収益及び費用	原則	HR	
	例外	AR	
換算差額：為替差損益として処理する。			
※1 個々の本支店間取引につき、取引発生時の為替相場により換算した金額又は本店における支店勘定の金額とする。			

(3)在外支店の換算手順

ア) 換算手順

(1)貸借対照表⇒(2)損益計算書



イ) 貸借対照表項目・本店勘定の換算

- ①資産及び負債をそれぞれ適用される為替相場場で換算する。
- ②本店勘定については、決算整理前残高試算表の本店勘定（未達処理後）について、それぞれ取引発生時の為替相場場で換算する。または、本店における支店勘定の金額を在外支店における本店の円換算額とする。
- ③円換算後貸借対照表の貸借差額により当期純利益又は当期純損失を求める。

ウ) 損益計算書項目の換算

- ①収益及び費用をそれぞれ適用される為替相場で換算する。
- ②円換算後貸借対照表の貸借差額により求めた当期純利益又は当期純損失を記入する。
- ③円換算後損益計算書の貸借差額により、為替差損益を求める。

3. 未達事項の処理と換算

(1)整理仕訳 (単位:ドル)

(借) 本店より仕入	90	(貸) 本店	90
(借) 本店	100	(貸) 売掛金	100
(借) 貸倒引当金	3	(貸) 貸倒引当金繰入	3

(2)未達処理後の損益勘定

【換算前】		損	益	(単位:ドル)
繰越商品	390	売上	6,930	
仕入	4,500	繰越商品	420	
本店より仕入	660	受取利息	112	
販管費	1,680			
減価償却費	90			
貸倒引当金繰入	27			
支払利息	100			
本店	15			
	<u>7,462</u>			<u>7,462</u>

(3)換算

損益項目の円貨額 (外貨表示額はドル単位、円貨表示額は円単位)

科目	外貨表示額	為替相場	円貨表示額	科目	外貨表示額	為替相場	円貨表示額
繰越商品	390	AR 92	35,880	売上	6,930	AR 98	679,140
仕入	4,500	AR 98	441,000	繰越商品	420	AR 98	41,160
本店より仕入	660	AR 98	64,680	受取利息	112	AR 98	10,976
販管費	1,680	AR 98	164,640				
減価償却費	90	HR 90	8,100				
貸倒引当金繰入	27	AR 98 [*]	2,646				
支払利息	100	AR 98	9,800				
当期純利益	15	—	△1,500				
為替差損益	—	—	6,030				
	<u>7,462</u>		<u>731,276</u>		<u>7,462</u>		<u>731,276</u>

※本問では、諸費用は期中平均相場により換算すると指示があるので、貸倒引当金繰入については期中平均相場により換算する。

(4)換算後の損益勘定

【換算後】	損	益	(単位:円)
繰越商品	35,880	売上	679,140
仕入	441,000	繰越商品	41,160
本店より仕入	64,680	受取利息	10,976
販管費	164,640	本店	1,500
減価償却費	8,100		
貸倒引当金繰入	2,646		
支払利息	9,800		
為替差損益	6,030		
	<u>732,776</u>		<u>732,776</u>

4. 本店の決算整理事項

(1)売上原価の算定 (仕入勘定で損益原価の算定を行う) (以下、単位:円)

(借) 損益	158,000	(貸) 繰越商品	158,000
(借) 損益	846,860	(貸) 仕入	846,860
(借) 繰越商品	63,000	(貸) 損益	63,000

(2)減価償却費の計上

- ①建物減価償却費: 315,000円 ÷ (40年 - 4年) = 8,750円
- ②備品減価償却費: 48,000円 × (1 ÷ 3年 × 200%) = 32,000円

③整理仕訳

(借) 減価償却費	40,750	(貸) 減価償却累計額	40,750
-----------	--------	-------------	--------

(3)有価証券について

- ①A社株式: 22,000円 (時価) - 20,000円 (取得原価) = 2,000円 (評価益)
- ②B社株式: 350ドル (時価) × 100円 (CR) - 300ドル (取得原価) × 93円 (HR) = 7,100円 (評価益)
- ③C社株式
 - ア) 金利の調整額 (ドル建)
 - (800ドル (券面額) - 795ドル (取得原価)) ÷ 5年 (償還期間) = 1ドル
 - イ) 決算日における換算替
 - 満期保有目的の債券は、金銭債権との類似性を考慮して、決算時の為替相場による円換算を行う。
 - i) 帳簿価額: 795ドル (取得原価) × 95円 (HR) + 1ドル (金利の調整額) × 98円 (AR) = 75,623円
 - ii) 貸借対照表価額: (795ドル (取得原価) + 1ドル (金利の調整額)) × 100円 (CR) = 79,600円
 - iii) 為替差損益: i) - ii) = 3,977円 (為替差益)

④D社株式 (減損処理)

- ア) 取得原価: 200ドル (取得原価) × 95円 (HR) = 19,000円
- イ) 時価: 80ドル (時価) × 100円 (CR) = 8,000円
- ウ) 評価損: ア) - イ) = 11,000円

⑤整理仕訳

(借) 投資有価証券 (その他有価証券)	9,100	(貸) その他有価証券評価差額金	9,100
(借) 投資有価証券 (満期保有目的の債券)	98	(貸) 受取利息	98
(借) 投資有価証券 (満期保有目的の債券)	3,977	(貸) 為替差損益	3,977
(借) 投資有価証券評価損	11,000	(貸) 投資有価証券 (その他有価証券)	11,000

⑥解答の金額

▼満期保有目的の債券：75,525円（帳簿価額）+98円（金利の調整額）+3,977円（為替差益）=79,600円
 ▼その他有価証券：20,000円（A社株式）+27,900円（B社株式）+19,000円（C社株式）
 +9,100円（評価益）-11,000円（評価損）=65,000円

(4)貸倒引当金の計上

①貸倒引当金の計算

$(80,000 \text{円} (\text{売掛金}) \times 2\%) + (700 \text{ドル} (\text{外貨建売掛金}) \times 100 (\text{CR}) \times 3\%) = 3,700 \text{円}$

②貸倒引当金繰入の計算

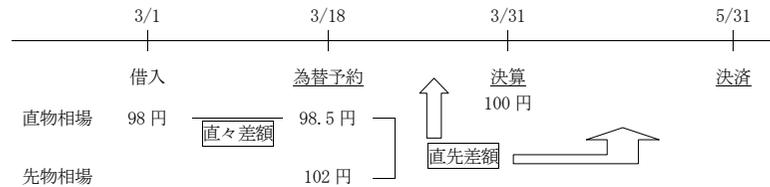
$3,700 \text{円} - 1,700 \text{円} (\text{残高}) = 2,000 \text{円}$

③整理仕訳

(借) 貸倒引当金繰入	2,000	(貸) 貸倒引当金	2,000
-------------	-------	-----------	-------

(5)為替予約

①為替予約時の未処理事項の処理



ア) 直々差額の計算

$500 \text{ドル} \times (98 \text{円} (\text{借入時の直物相場}) - 98.5 \text{円} (\text{為替予約時の直物相場})) = 250 \text{円} (\text{為替差損})$

イ) 直先差額の計算

$500 \text{ドル} \times (98.5 \text{円} (\text{為替予約時の直物相場}) - 102 \text{円} (\text{先物相場})) = 1,750 \text{円}$

ウ) 会計処理

(借) 為替差損益	250	(貸) 借入金	2,000
(〃) 前払為替差損益	1,750		

②決算での処理

ア) 直先差額の期間配分

直先差額は、2国間の金利の差を表している。したがって、金利としての性格を有している以上、各会計期間にわたって期間配分する必要がある。

$1,750 \text{円} \times 14 \text{日} (3 \text{月} 18 \text{日} \sim 3 \text{月} 31 \text{日}) / 75 \text{日} (3 \text{月} 18 \text{日} \sim 5 \text{月} 31 \text{日}) \approx 327 \text{円}$

イ) 会計処理

(借) 為替差損益	327	(貸) 前払為替差損益	327
-----------	-----	-------------	-----

③解答の金額

▼借入金：49,000円（借入時の帳簿価額）+2,000円（為替差損）=51,000円

▼前払費用：1,750円（前払為替差損益）-327円（為替差損）=1,423円

(6)その他

①整理仕訳

(借) 償却債権取立益	100	(貸) 貸倒引当金繰入	100
-------------	-----	-------------	-----

5. 本店の損益勘定

損		益		(単位：円)
繰越商品	158,000	売上		1,273,280
仕入	846,860	支店へ売上		64,680
販管費	138,000	繰越商品		63,000
減価償却費	40,750	受取利息		8,778
貸倒引当金繰入	1,900	有価証券売却益		2,200
支払利息	3,000	受取配当金		600
為替差損益	280			
投資有価証券評価損	11,000			
総合損益	212,748			
	<u>1,412,538</u>			<u>1,412,538</u>

6. 合併整理仕訳（会社全体の利益の算定）

(借) 総合損益	1,500	(貸) 支店	1,500
(借) 繰延内部利益	1,656	(貸) 繰延内部利益戻入	1,656
(借) 繰延内部利益控除	2,470	(貸) 繰延内部利益	2,470

7. 総合損益勘定

総合損益		(単位：円)	
支店	1,500	損益	212,748
繰延内部利益控除	2,470	繰延内部利益戻入	1,656
繰越利益剰余金	210,434		
	<u>214,404</u>		<u>214,404</u>

8. 合併損益計算書（合併精算表上）

(1)合併精算表上の合併整理仕訳

(借) 支 店 へ 売 上	64,680	(貸) 本 店 よ り 仕 入	64,680
(借) 受 取 利 息	7,840	(貸) 支 払 利 息	7,840
(借) 繰 延 内 部 利 益	1,656	(貸) 繰 延 内 部 利 益 戻 入	1,656
(借) 繰 延 内 部 利 益 控 除	2,470	(貸) 繰 延 内 部 利 益	2,470

(2)本店合併損益計算書

本支店合併損益計算書		(単位：円)	
期首商品棚卸高	192,224	売 上 高	1,952,420
当期商品仕入高	1,287,860	期末商品棚卸高	101,690
販 管 費	302,640	受 取 利 息	11,914
減 価 償 却 費	48,850	有 価 証 券 売 却 益	2,200
貸倒引当金繰入	4,546	受 取 配 当 金	600
支 払 利 息	4,960		
為 替 差 損 益	6,310		
投資有価証券評価損	11,000		
当 期 純 利 益	210,434		
	<u>2,068,824</u>		<u>2,068,824</u>

- ▼売上高：1,273,280円（本店の外部売上）＋64,680円（本店の支店へ売上）＋679,140円（支店）
－64,680円（本支店間取引の修正消去）＝1,952,420円
- ▼期首商品棚卸高：158,000円（本店）＋35,880円（支店）－1,656円（繰延内部利益戻入）＝192,224円
- ▼当期商品仕入高：846,860円（本店）＋441,000円（支店）＋64,680円（支店の本店より仕入）
－64,680円（本支店間取引の修正消去）＝1,287,860円
- ▼期末商品棚卸高：63,000円（本店）＋41,160円（支店）－2,470円（繰延内部利益控除）＝101,690円
- ▼販管費：138,000円（本店）＋164,640円（支店）＝302,640円
- ▼減価償却費：40,750円（本店）＋8,100円（支店）＝48,850円
- ▼貸倒引当金繰入：1,900円（本店）＋2,646円（支店）＝4,546円
- ▼受取利息：8,778円（本店）＋10,976円（支店）－7,840円（80ドル×98円：本支店間取引の修正消去）
＝11,914円
- ▼有価証券売却益：2,200円（本店）
- ▼受取配当金：600円（本店）
- ▼支払利息：3,000円（本店）＋9,800円（支店）－7,840円（80ドル×98円：本支店間取引の修正消去）
＝4,960円
- ▼為替差損：280円（本店）＋6,030円（支店）＝6,310円
- ▼投資有価証券評価損：11,000円（本店）